学校番号	T0106

平成 31 年度　外国語科

教科	外国語	科目	英語会話	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Hello there! English Conversation						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ことを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 ・基本的な語や表現を使って、好き嫌いやできることできないことなど日常的な事柄についてやり取りすることができる。	観察 インタビューテスト	・簡単な語や基本的な表現を用いて、バースデイカードなどメッセージカードを書くことができる。 ・趣味や好き嫌いについて簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数書くことができる。	ハンドアウト 考査	・ゆっくりはっきりと発話される、基本的な語句や表現からなる３文程度の英文の内容を的確に聞き取ることができる。 ・趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	ハンドアウト 観察	・基本的な語句や表現から構成させる１～３文程度の英文を文法事項などの知識も活用して内容を的確に読み取り音読することができる。 ・日常生活で使われる簡単で短い文章(携帯メールや招待状など)を理解することができる。	ハンドアウト 考査 観察 インタビューテスト

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson1 Nice to Meet You （６時間）	登校途中、恵がグリーン先生との会いその会話を通して、自己紹介の表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	自己紹介するためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自己紹介についての会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、自己紹介する。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・内容を要約することできる。 ・読んだことに基づき、自己紹介することができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		登場人物がどのような自己紹介をしているか理解する。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	登場人物がどのような自己紹介をしているか理解できる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・疑問詞 what について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・疑問詞 what について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson2 Hello, Friends! （６時間）	恵がグリーン先生へのインタビューを通して、インタビューのしかたまたその表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューする。	自己紹介するためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューすることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・インタビューについての文章を読んで、その表現を適切に書く。	・ハンドアウトを用いて、インタビューについての表現を適切に書く。	・インタビューについての文章を読んで、その表現を適切に書くことができる。	ハンドアウトを提出させ、その内容を取り組み状況として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・インタビューを読んで、その情報の概要や要点を捉える。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・インタビューを読んで、その情報の概要や要点を捉えることができる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞 may の働きを理解する。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	助動詞 may の働きを理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson3 My Favorite Music （６時間）	恵とボブの会話を通して、近況の聞き方について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューする	近況を聞くためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューすることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		最近起こった出来事について適切に書く。	近況についてハンドアウトに適切に書く。	最近起こった出来事について適切に書くことができる。	ハンドアウトを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・近況についての会話を読んで、その情報の概要や要点を捉える。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・近況についての会話を読んで、その情報の概要や要点を捉える。	・定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・近況を聞く表現を理解する。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・近況を聞く表現を理解することができる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson4 What Are You Crazy about? （６時間）	サクラとホームステイ先の友人クリスの会話を通して、自分の興味・関心の伝え方につい学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューする。	興味・関心を伝えるためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューすることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・興味・関心を伝える文章を読んで、その表現を適切に書く。	・ハンドアウトを用いて、興味・関心を伝える表現を適切に書く。	・興味・関心を伝える文章を読んで、その表現を適切に書くことができる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・興味・関心を伝える会話を読んで、その情報の概要や要点を捉える。	・教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する	・興味・関心を伝える会話を読んで、その情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する
		「言語や文化についての知識・理解」			
		誘う・誘いを断る表現の働きを理解する。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	誘う・誘いを断る働きを理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson5 A Friendly Potluck Dinner （６時間）	ポットラックパーティーを開く準備の会話を通して、許可をもとめる・説明する表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューする。	許可を求める業現のキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペアワークにおいて互いに協力しながらインタビューすることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		世界で取り上げられている問題について表現し、説明できる。	教科書本文やその問題を用いて、働くことについての説明や表現をする。	世界で取り上げられている問題について表現し、説明できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・物後を説明する会話を読んで、その情報の概要や要点を捉える。	・教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・物後を説明する会話を読んで、その情報の概要や要点を捉えることができる。	・定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		説明する表現の働きを理解する。	教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	説明する表現の働きを理解することができる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。